

武蔵野市第3期健康福祉総合計画・各個別計画(答申)における「医療・介護連携」

武蔵野市第5期地域福祉計画					
基本施策	施策	個別施策	内容		
誰もが地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりの推進	安心・安全な暮らしを支える自助・共助・公助の連携	在宅医療・介護連携推進事業による多職種連携の強化	<p>□平成27(2015)年度に介護保険法に位置づけられた「在宅医療・介護連携推進事業」による課題解決の取り組みについて、高齢・介護分野以外にも拡充し、多職種連携のすそ野を広げ、連携強化を図ります。</p> <p>□在宅医療・介護連携推進事業については、保健・医療・介護福祉関係者等多職種の合同研修の実施や市民の理解を促進するための講演会等を計画的に開催していきます。</p>	在宅医療・介護連携推進協議会	
		認知症に関する普及・啓発の強化	<p>□認知症の理解促進及び認知症の方とその家族が暮らしやすいまちづくりのため、市民向け、事業者向けの「認知症サポーター養成講座」等の実施により、認知症理解の促進、地域の認知症高齢者見守り意識の醸成を図ります。</p> <p>□冊子「みんなで知ろう認知症」(認知症ケアパス)を講座や研修において活用します。</p>		
武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画					
基本施策	施策	個別施策	内容		
誰もが地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりの推進	認知症高齢者とその家族を支える仕組み	認知症相談事業	<p>□認知症の方への対応に戸惑う家族を支えるため、認知症専門相談員や医師による面接相談を実施し、精神的な支援と早期対応を図ります。</p> <p>□認知症の方や認知症が気になる方、その家族が、身近で気軽に相談できる場を増やしていきます。</p>		
		認知症の方の生活をささえるサービス	<p>□認知症高齢者の在宅生活の継続を目的として、「認知症高齢者見守り支援事業」、「はいかい高齢者探索サービス事業」等を充実することにより、認知症の方の生活の質の維持・向上及び家族介護者の負担の軽減を図ります。</p>		
		拡充 認知症の方への適時適切な支援体制の強化	<p>□武蔵野赤十字病院、武蔵野市医師会、在宅介護・地域包括支援センターによる認知症初期集中支援チームを市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターに設置し、認知症の自覚がない等医療につながりにくい認知症が疑われる方に対する早期対応に取り組みます。</p> <p>□在宅医療・介護連携推進協議会に認知症連携部会を設置し、医療・介護・福祉関係者が連携して認知症の方と家族介護者を支える体制強化に取り組みます。</p>	認知症連携部会	
		新規 新たな認知症高齢者グループホーム(認知症対応共同生活介護)の整備	<p>□認知症高齢者の増加、認知症への対応の困難さが高齢者の施設入所の要因であること、認知症高齢者グループホームの待機者の現状等を考慮し、市内に認知症高齢者グループホーム(2ユニット18名程度)を整備します。</p>		
		多職種連携による在宅生活を継続するための取組み	<p>□高齢者の生活の質の向上や低栄養の予防等を図るため、特別養護老人ホームで実施している摂食嚥下支援の取組みを、在宅高齢者への支援に拡大していきます。</p> <p>□在宅医療・介護に関わる専門職への情報提供や研修の実施とともに、情報共有のための連携ツールについても検討します。</p> <p>□家族介護者等市民への摂食嚥下支援の必要性に関する普及啓発を行います。</p>	在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会	
	住み慣れた地域で安心して暮らすための基盤としての医療と介護の連携	拡充 在宅医療と介護連携の強化		<p>□市民の在宅療養生活を支えるためには、医療と介護関係者の連携による切れ目ない支援が必要です。介護保険の利用者が入院する際のケアプランの病院側への提供や、退院時カンファレンスの円滑な実施等、入退院時の支援体制を構築します。</p> <p>□「脳卒中地域連携パス」や「もの忘れ相談シート」「武蔵野市介護情報提供書」等の既存の情報共有と連携の仕組みを活用し、多職種による支援体制の強化を図ります。</p> <p>□連携にあたっては、関係者との日程調整が困難であることが一番の課題となっています。武蔵野市医師会が導入しているICTの活用を促進することで、効率的かつ効果的な情報共有を行い、支援者の事務負担の軽減と連携の強化により、市民の在宅療養生活の質の向上につなげます。</p> <p>□市民の在宅医療と介護に関する相談に対応するため、現在、医療・介護関係者の相談窓口として武蔵野市医師会に設置している「武蔵野市在宅医療介護連携支援室」の相談体制や業務内容等について検討します。</p> <p>□市民向けの講座や講演会の開催により、在宅医療と介護連携について、市民への啓発を行います。</p>	入退院時支援部会 ICT連携部会 普及・啓発部会
			拡充 保健・医療・介護・福祉の有機的な連携のための研修の充実	<p>□医療職を対象とした介護サービス等の情報提供や、介護関係者向けの医療知識を得る研修の実施等、医療職と介護職が相互に理解をすることを目的とした研修を実施します。またケアマネジャーアンケート調査の結果から参加希望の多かった精神疾患を理解するための研修や医療知識を得るための研修等を計画的に実施します。</p> <p>□在宅医療・介護連携推進協議会が実施する多職種合同研修会については、病院や診療所の関係者や今まで参加の少なかった管理栄養士、PT、OT、ST等にも参加を募り、多職種連携の裾野を広げます。</p>	多職種連携推進・研修部会
			新規 在宅医療を支える後方支援病床の検討	<p>□武蔵野市医療構想(ビジョン)2017に基づき、在宅で医療と介護を受けながら生活している市民の病状が急変した時等、一時的に入院が必要となった場合に受け入れられる医療機関の整備や活用ルールについて、関係機関と協議します。</p>	入退院時支援部会
		新規 暮らしの場における看取りの支援	<p>□人生の最期の過ごし方についての希望は様々ですが、自分や家族の老後や介護について、考えておくことは重要です。看取りも含めた医療や介護についての情報提供や普及啓発を行います。</p> <p>□介護サービス事業者向けに終末期のケアや医療に関する研修を行い、看取りへの理解と対応力の向上につなげます。</p>	普及・啓発部会 多職種連携推進・研修部会	
		拡充 訪問看護と介護の連携強化事業による中重度要介護者の在宅生活継続支援	<p>□平成27年度より要介護認定者等に係る医療情報を、訪問看護事業者からケアマネジャーに提供し、事業者間の医療連携が行われた場合に交付する連携費交付事業を実施しています。</p> <p>□ケアマネジャーからも従来モニタリングとして依頼していた医療情報について、より細かく病状や主治医からの指示を把握することができ、居宅サービス計画の作成にとっても効果的であるという評価をいただいていることから、引き続き本事業を継続します。なお、今後の介護保険制度改正の動向も見据えて、医療ニーズの高い要介護者のさらなる在宅生活支援の観点から必要な見直しについても検討します。</p>		
武蔵野市障害者計画・第5期障害者福祉計画					
基本施策	施策	個別施策	内容		
誰もが地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりの推進	保健・医療・介護・福祉の連携の推進	在宅医療・介護連携推進協議会による課題解決に向けた取組みの推進	<p>□平成27(2015)年度に介護保険法に位置づけられた「在宅医療・介護連携推進事業」の取組みである在宅医療・介護連携推進協議会と協働し、入院中の精神障害者の地域移行促進や増加する高齢障害者、医療ニーズの高い障害者や特に医療との連携が不可欠な精神障害者に対して、保健・医療・福祉の各部門の関係者ととも地域での課題解決にあたります。</p> <p>□関係機関と密に連携をとり、多様な障害特性に対応できる地域医療体制の構築を進めます。</p> <p>□障害児(者)、家族、支援に関わる職員に対して、摂食嚥下を含む口腔ケアに関する情報提供や研修等を引き続き実施するとともに、情報共有のための連携ツールについても検討します。</p>	在宅医療・介護連携推進協議会	
武蔵野市第4期健康推進計画・食育推進計画					
基本施策	施策	個別施策	内容		
誰もが地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりの推進	医療ネットワークづくりの支援	医療機関の連携体制の維持・推進	<p>□吉祥寺地区の病院機能を維持するための取組</p> <p>□武蔵野赤十字病院への必要な支援実施</p> <p>□市内の医療体制の維持・整備に向けた取組</p> <p>□かかりつけ(医師・歯科医師・薬局(薬剤師))制度の推進</p> <p>□地域包括ケアシステム推進に向けた関係機関への働きかけ</p> <p>□救急医療体制を維持するための連携</p>		
		在宅療養生活を支える仕組みづくり	<p>□市民の病状の急変時等に受け入れられる医療機関の整備と活用ルールの協議</p> <p>□在宅医療・介護連携推進協議会を中心とした、多職種が連携して市民の在宅医療を支える仕組みづくりの推進</p>	入退院時支援部会 在宅医療・介護連携推進協議会	
地域と連携した食育の推進	栄養ケアを必要とする人への支援に関する連携	拡充 栄養ケアに関する多職種連携の充実	<p>□在宅医療・介護連携推進協議会の拡充(管理栄養士・医師・歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・ケアマネジャー・看護師・保健師・言語聴覚士・訪問介護等との連携)</p>	在宅医療・介護連携推進協議会	
		新規 多職種連携した栄養ケアの支援の検討	<p>□摂食嚥下支援事業</p> <p>□在宅ケアに必要な人への訪問支援の検討</p> <p>□認定栄養ケア・ステーションの設置の勧奨等、地域で相談できる窓口の設置の研究</p>		